

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		安全・安心な道づくり				所管	都市づくり部 土木課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	91	計画事業名	安全・安心な道づくり		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進						[事業開始] 平成17年度		
		[小 柱] (2) 快適で利用しやすいまちづくり						[終了予定] - 年度		
		[施策] ②だれもが利用しやすいまちづくり								
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	道路法					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、道路利用者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	歩道の新設、拡幅、バリアフリー化を推進することにより、歩行者の安全性・快適性の向上及び交通の円滑化を図る。								
	事業内容 [29年度]	【工事内容】 歩・車道舗装工、街築工、排水施設工、交通安全施設工ほか 【29年度整備延長】 歩道のバリアフリー化:1,051メートル								
委託の有無	なし		委託内容		なし					
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	歩道のバリアフリー化整備延長		m	1,600	505	949	1,051	1,000	105.1%
	成果指標	歩道のバリアフリー化整備延長(累計)		m	15,195	11,595	12,544	13,595	13,595	100.0%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				211,842		611,180		502,810
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				19,248		18,726		23,044
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				55		76		69
		総経費				211,788		611,105		502,741
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		119,177
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				20,150		38,475		34,100
一般財源(区負担額)				210,941		591,432		372,577		
前回評価から29年度に改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国内外から高齢者や障害者を含む多くの人々が訪れることが想定されるためニーズは増加している。							
	効率性	3	施工条件に合わせ、適切な設計・施工をしている。							
	手段の適切性	3	歩車道分離及び歩道のバリアフリー化は、安全性・快適性の観点から有効であり、概ね適切である。							
目的達成度	4	計画に基づいた歩車道分離及び歩道のバリアフリー化は、目標を達成している。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、来街者が増加傾向にある。そのような状況の中、効率的な事業実施に努め、目標を達成することができている。区民をはじめ、すべての道路利用者が安全・快適に通行できる空間を提供することは重要であるため、着実に整備を行っている。						拡大		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		